

公益財団法人 檜の芽会 御中

## 伴走型就学・学習支援活動助成 実施報告書

【団体の概要】	①作成日		令和 6 年 3 月 1 日
②法人・団体名	とらいさぽーと		
③所在地	〒569-0805 高槻市上田辺町 6-23 上田辺薩摩ビル 301 号室		
④責任者氏名	三宅孝子	(役職名等)	代表
⑤担当者氏名	同上	(役職名等)	

## 【奨学活動の概要】

⑥助成交付決定番号	R05-007	⑦助成金額	30 万円	⑧申請カテゴリー	B
⑨奨学活動名	発達障害児者に必要な個別学習や余暇支援を年間を通じて行う活動				
⑩主な実施場所	高槻市上田辺町 6-23 上田辺薩摩ビル 301 号室				

## ⑪活動内容とその成果の概要

発達障害児者支援として、発達特性に応じた個別学習や余暇活動を、継続的に実施しました。主に、SST や LST 学習、ヨガやアロマによる体調管理、調理などのレクリエーション活動を、個別ニーズに沿って子どもの個性や特性を尊重しながら、複数の専門スタッフで取り組みました。

## ⑫奨学活動の定量的把握

支援対象	延べ人数 (A : 人)	平均時間 (B : 時間)	活動量 (A x B)	備考・補足
中学生等	0			
高校生等	36	1,2 時間	43	7 月から 3 月まで、月 2 回実施
大学生等	18	1,2 時間	22	7 月から 3 月まで、月 2 回実施
学習支援員等	72	3 時間	216	7 月から 3 月まで、月 4 回支援実施
その他	22	1,2 時間	26	7 月から 3 月まで、月 1~2 回実施
合 計			307	

## ⑬その他の定量的な数値 (任意)

## 令和 5 年度 伴走型就学・学習支援活動助成 実施詳細報告書

**奨学活動名：**発達障害児者に必要な個別学習や余暇支援を年間を通じて行う活動

法人・団体名：とらいさぽーと

作成者 氏名：三宅孝子 代表

### 1. 取り組んだ課題や実践した目的・実施内容について

発達特性から自己肯定感を持たず不安感を抱えてしまう子どもたちをサポートするには、一人ひとりに応じた学習・体調管理・余暇活動を継続的に行うことが必要です。長年特別支援教育に携わってきた専門スタッフと ASD スペクトラム支援士は、子どもたちが自分らしさを発信できるよう、環境を整え支援活動を実施してきました。

また、家庭内での孤立化を防ぐため保護者との振り返りの時間を持ち、情報共有に努めました。

### 2. 実施した奨学活動の精細

日程	活動内容	支援員	学生・他・（保護者）	精細
	前期（7月～9月）			
7月3日	学習支援・調理余暇	2	2 高	SST・LST・チヂミ作り
7月6日	学習支援	1	1 他	SST・LST
7月12日	学習支援・調理余暇	2	1 高・1 大	SST・LST・チヂミ作り
7月20日	学習支援・体調管理支援	2	1 高・2 他	SST・LST・ヨガアロマ
7月26日	学習支援	2	1 大	SST・LST
			計 8 名	
8月7日	学習支援	2	2 高	SST・LST
8月21日	学習支援	2	1 高	SST・LST
8月23日	学習支援・調理余暇	2	1 大	SST・LST・炒め物
8月24日	学習支援・体調管理支援	2	1 高・1 大・2 他	SST・LST・ヨガアロマ
			計 8 名	
9月4日	学習支援・調理余暇	2	2 高	SST・LST・炒め物
9月13日	学習支援	2	1 大	SST・LST
9月21日	学習支援・体調管理支援	2	1 高・1 他	SST・LST・ヨガアロマ
9月25日	学習支援	2	1 高	SST・LST
9月26日	保護者面談	1	(1 保)	前期振り返り・後期支援目標
9月27日	学習支援・調理余暇	2	1 大	SST・LST・ホットケーキ
9月29日	保護者面談	1	(2 保)	前期振り返り・後期支援目標
			計 7 名	
	後期（10月～3月）			
10月2日	学習支援・調理余暇	2	2 高	SST・LST・ホットケーキ
10月11日	学習支援	2	1 大	SST・LST
10月19日	学習支援・体調管理支援	2	1 高・1 他	SST・LST・ヨガアロマ
	保護者面談	2	(1 保)	前期振り返り・後期支援目標
10月25日	学習支援・調理余暇	2	1 高・1 大	SST・LST・ハロウィン弁当
			計 7 名	

11月2日	学習支援・調理余暇	2	1高・1他	SST・LST・餃子
11月8日	学習支援・調理余暇	2	1高・1大	SST・LST・餃子
11月16日	学習支援・体調管理支援	2	1高・2他	SST・LST・ヨガアロマ
11月22日	学習支援・調理余暇	2	1高・1大	SST・LST・餃子
			計9名	
12月7日	学習支援・調理余暇	2	1高・1他	SST・LST・Xmasチキン
12月13日	学習支援・調理余暇	2	1高・1大	SST・LST・Xmasチキン
12月21日	学習支援・体調管理支援	2	1高・2他	SST・LST・ヨガアロマ
12月27日	学習支援	2	1高・1大	SST・LST
			計9名	
1月10日	学習支援	2	1高・1他	SST・LST
1月11日	学習支援	2	1高・1大	SST・LST
1月18日	学習支援・体調管理支援	2	1高・2他	SST・LST・ヨガアロマ
1月24日	学習支援・調理余暇	2	1大	SST・LST・バレンタイン菓子
			計8名	
2月1日	学習支援・調理余暇	2	2高・1他	SST・LST・バレンタイン菓子
2月14日	学習支援	2	1高・1大	SST・LST
2月15日	学習支援・体調管理支援	2	1高・2他	SST・LST・ヨガアロマ
2月21日	学習支援・調理余暇	2	1高・1大	SST・LST・行楽弁当
			計10名	
3月7日	学習支援・調理余暇	2	1高・1他	SST・LST・行楽弁当
3月13日	学習支援	2	1高・1大	SST・LST
3月21日	学習支援・体調管理支援	2	1高・2他	SST・LST・ヨガアロマ
3月27日	学習支援	2	1高・1大	SST・LST
以降	保護者面談予定	1	(保4)	後期振り返り・次年度支援目標
			計9名	

### 〈学習支援〉

学習支援として、自立課題や SST/LST を取り入れ、其々の子どもニーズに沿った内容で支援を実施しました。

#### 自立課題





興味・関心から自立課題を設定することが、子どもの可能性を引き出すために最も有効であると言われています。

助成金により購入したタブレットは、そのための手段として様々な用途に活用しました。



ゲームの好きな子どもには、タイピングゲームを自立課題として取り入れました。

これまでローマ字での入力ができなかった子どもが、ゲームでクリアしながらポイントを上げていくことで無理なくポジションを覚えて入力出来るようになっていきます。



SST/LST

	<p>発達障害の特性を持っていても、公表しない限り、学力が高い子どもはその力で社会に出ても対処できるであろうと周囲に思われてしまいます。</p> <p>しかし、周囲に合わせる生活を優先しなければならない環境では、無理が重なり鬱などの二次障害を併発してしまいます。</p> <p>SST/LST は、自己肯定感を持ち自分を生かすための学習として実施しました。</p>
	<p>本来の能力を発揮するための学習として、診断や障害名について子ども自身が負のイメージで誤った捉え方をしないよう、スタッフは発達特性の理解共有を子どもたちと丁寧に行いました。</p> <p>その過程を経て、進路先やその後の就労、またライフスタイルについて、いろいろな選択肢があることを具体的に情報提供しています。</p>

〈体調管理支援〉

		<p>自律神経に不調を来しやすい発達障害児者の体調支援として、リラクゼーションヨガやアロマセラピーを実施しました。</p> <p>自分の体調に意識を向け、自分の体を労わることで、ストレスを軽減するよう支援をしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自身の体調を振り返る</li> <li>・ヨガの呼吸でリラックスをする</li> <li>・セルフケアで、自分の身体をチェックする</li> </ul>
--	--	---

〈調理余暇支援〉

		<p>調理は単なる余暇ではなく、自立課題の実習作業として取り入れました。</p> <p>子どもの特性に沿った事前準備をすることで、なるべく自分の力で最後までやり遂げるように課題設定をしました。</p> <p>人に指図されずに自分で作ることができた、それを持ち帰り、家族に褒めてもらった、そのことが達成感となり自信に繋がります。</p> <p>「今日は調理ないの?」「何を作るの?」と楽しみにしている子どもや黙々と作業に集中する子どもの様子から、調理は余暇支援としても自立課題としても、強力な支援ツールとなりました。</p>
---	---	---

・参加人数

	延べ人数	
学習支援	69名	高校生等 37・大学生等 18・その他 14
体調管理支援	26名	高校生等 9・大学生等 1・その他 16
調理余暇支援	26名	高校生等 15・大学生等 7・その他 4

- ・周知方法と協力関係者について
- ・地域やボランティア活動との連携

6月	団体登録先の高槻市市民公益サポートセンターへ、チラシ配布とHPでの掲載を依頼
7月	HPにて檜の芽会助成金事業活動について報告 社福北摂杉の子会講演会会場にて、チラシ配布
8月	高槻市子育て総合支援センターの問い合わせを受け、支援状況資料を提供
9月	たかつきNPO協働フェスタにて、チラシを配布
12月	高槻市子育て総合支援センターと市民公益活動サポートセンター主催による情報交換会 (子育て支援団体顔合わせ会)にて、サポート教室での活動紹介
3月以降	上記「子育て支援団体」のメンバーとして冊子「子育てお助けbook」に掲載予定 市関係機関への配布、及び市HPにて掲載予定

・学習支援員について

発達障害支援には、ASDやADHDの特性理解から、知的障害や身体障害、精神障害、他、様々な障壁についての知識と実践経験が必要になります。

「とらいさぼーと」では教員免許取得者3名のうち、ASDスペクトラム支援士1名が子どもの支援について保護者との共有理解に努め、2名の支援スタッフと情報共有をしながら総合的に子どもの支援に関わりました。長年学校教育現場で多くの子どもたちの支援に携わってきた支援員2名は、サポートボランティアとしてSST・LST学習や体調管理支援を担当しました。

### 3. 本活動から得られたもの、反省点、課題、今後への発展性、等

できるだけ個別のニーズに沿った支援を、この度の助成金活用で実施することができました。

発達の特性に沿った支援を継続的に実施することで、子どもたちは其々のライフステージに歩みを進めることができている。

しかし、支援の難しさから十分な資金の確保ができず、活動を継続するには資金面での負担が引き続き課題として残ります。今後の発展性として、これまでの活動が市の子育て支援団体の一つとして広く紹介されることで、ニーズのある方たちに広く周知して貰えるのではないかと期待しています。

### 4. 本活動におけるエピソード、思い、感想、等（任意）

小学校低学年から支援に携わってきた生徒が、2023年9月から障害者雇用枠での正式採用が決まりました。彼は現在、毎日元気に電車通勤をしています。

発達特性による何らかの生きづらさを抱えていると、人一倍努力して環境適応しようと頑張る子どもが実は多いのです。その結果体調を悪くしてしまい本来の力が発揮できず、引きこもり、孤立してしまう人が残念ながら今でも多くいます。

知的障害があろうが無かろうが、発達に偏りがあっても無くても、その子どもの持つ世界観を尊重し、彼の理解できる方法で誠意を持って接することが大切だということを、社会人として生き生きと働いている彼から教えて貰ったような気がしています。